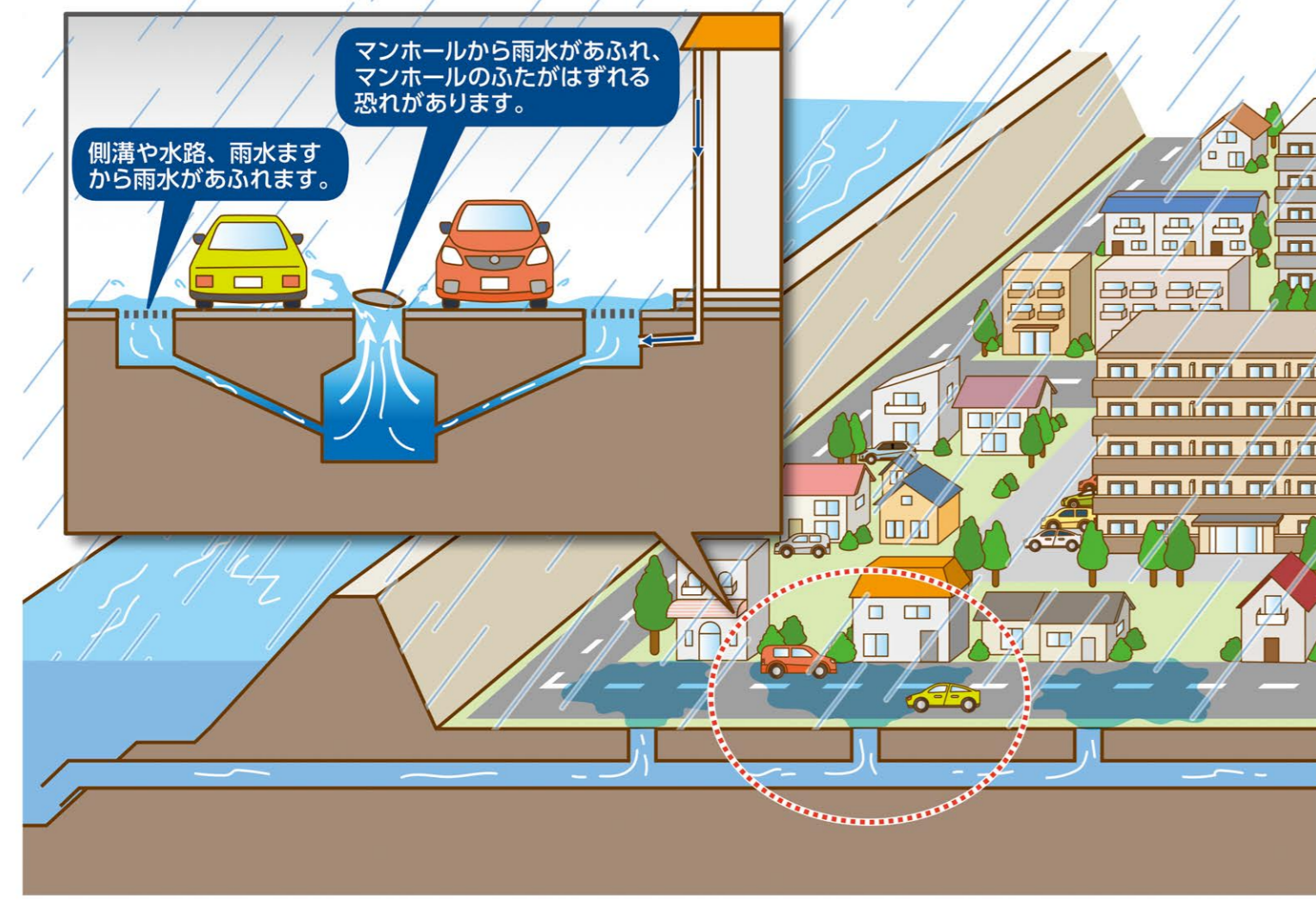


# 戸塚区内水ハザードマップ

## 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。  
 ※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



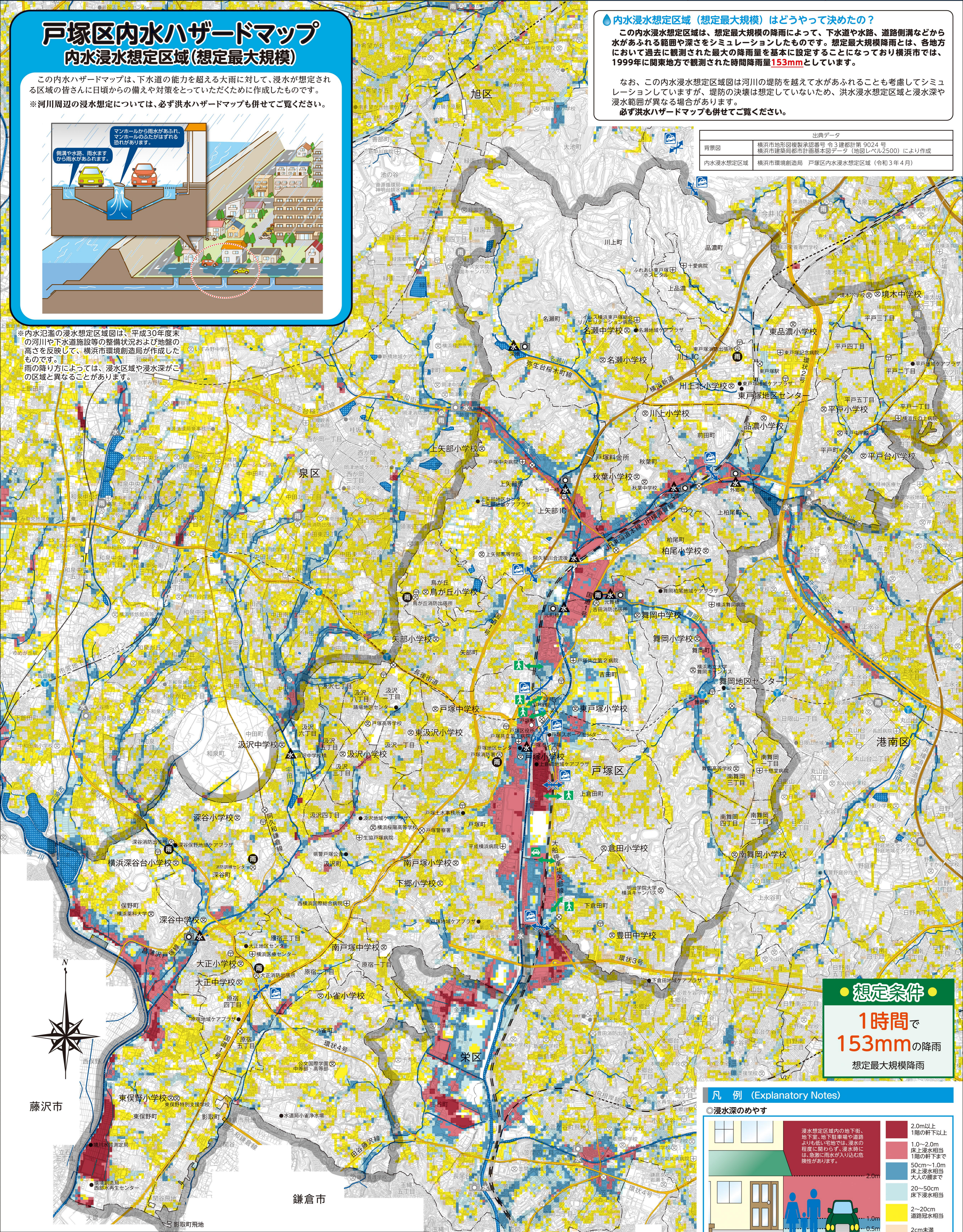
※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。  
 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

### 内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。  
**必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。**

出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 戸塚区内水浸水想定区域(令和3年4月)



**想定条件**  
**1時間**で  
**153mm**の降雨  
 想定最大規模降雨

### 凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深のめやす

2.0m以上 1階の軒下以上	浸水想定区域内の地下街、地下室、地下駐車場や道路よりも低い宅地では、浸水の程度に関わらず、浸水時には、急激に海水が入り込む危険性があります。
1.0~2.0m 床上浸水相当 1階の軒下まで	
50cm~1.0m 床上浸水相当 大人の膝まで	
20~50cm 床下浸水相当	
2~20cm 道路冠水相当	
2cm未満 道路冠水相当	

○避難する際に注意する箇所

アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所(進入すると危険なため、冠水の通行は控えてください。)
歩道橋	避難を阻害する鉄道や高速道路、バイパスのような構造物を横断するために有効な歩道橋や陸橋を記載
陸橋(歩道あり)	
都県界	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町丁目界	商業観測所
JR線・駅	水位観測所
私鉄線・駅	河川監視カメラ
市営地下鉄線・駅	河川、遊水池

### 降雨量のイメージ~1時間50ミリの場合~ (気象庁作成ローフレット雨と風より引用)

※この約3倍が内水ハザードマップの想定降雨量になります。

1時間に50ミリの雨は、雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態です。雨が1時間に50ミリメートルの高さまでたまる現象です。

「たった50ミリ」と思われるかもしれませんが、1平方メートルあたり50リットルになります。車をひらいた時の面積が約1平方メートルなので、1秒間降らせていると、傘には牛乳パック250本分の雨がたまることになります。

「道路冠水相当(2~20cm)以下の浸水深でも道路より低い宅地や地下施設などには雨水が流れ込むおそれがあるため、大雨の際は高い場所へ避難をしましょう。」

1 : 13,300  
 500m 0m 500m 1000m

戸塚区版

10